

低濃度水銀曝露の健康影響

2013年8月30日

岡山大学大学院環境生命科学研究科

頼藤貴志

1. 簡単に疫学の紹介

- ・リスク比・オッズ比とは
- ・95%信頼区間とは

2. 水俣病の疫学研究

- ・水俣病とは
- ・水俣病の歴史
- ・水俣病の疫学研究

3. より低濃度の水銀曝露に着目した疫学研究

- ・ファロー諸島、セイシェル諸島、ニュージーランドでの疫学研究
- ・その他、より低濃度の水銀濃度に着目した疫学研究
→妊婦への魚介類の摂食と水銀に関する注意事項（厚生労働省）
- ・心血管系への影響も懸念

4. 再度、水俣病：水俣病における残された課題

- ・50ppm 問題？
- ・認定問題
- ・胎児性患者さん
- ・中/低濃度胎児期曝露の影響

5. まとめ

- ・水俣病で見られた濃度よりも、より低濃度な水銀曝露による健康影響が認められている
- ・魚が含む不飽和脂肪酸とメチル水銀のバランスが大事になってくる
- ・水俣病においてもまだ低濃度水銀曝露の健康影響は解決されていない

■紹介させて下さい：

- ・Takashi Yorifuji, Toshihide Tsuda, Masazumi Harada. Chapter 5: Minamata disease: a challenge for democracy and justice. Late lessons from early warnings: science, precaution, innovation 2013. Published by European Environment Agency
URL: <http://www.eea.europa.eu/publications/late-lessons-2>

日本語訳を紹介しています：<http://www.okayama-u.ac.jp/user/envepi/>